

第10回松本市四賀地域公共交通協議会の開催結果について

1 開催日時

平成22年11月17日（水）
15時30分～17時00分

2 場 所

四賀支所 大会議室

3 出席者

松本市四賀支所長 鎌倉会長、四賀地域審議会 佐藤副会長、長野国道出張所 近藤委員、松本建設事務所 坂田委員、タクシー協議会 伊藤委員、松本市社会福祉協議会 山岸委員、松本市政策部長 高山委員、松本市建設部長 丸山委員（代理丸山）、松本市市民環境部長 牧垣委員（代理古田）、四賀地区町会連合会 平松委員、四賀地区町会連合会 塩原委員、四賀地区町会連合会 岩下委員、会田中学校 古川委員、高齢者クラブ 武川委員、行政相談員 草田委員、松本警察署 村松委員（代理熊谷）、松本地方事務所 竹淵委員、交通政策課 小林委員（代理犬飼）、長野運輸支局 千村委員

欠席 松本電鉄 惣洞委員、民生児童委員協議会 木下委員、民生児童委員協議会 竹内委員、民生児童委員協議会 青木委員、民生児童委員協議会 岩淵委員、会田中学校 倉科委員

4 会議事項

- (1) 第9回協議会の開催結果について（原案どおり承認）
- (2) 四賀地域公共交通実証運行の利用状況について（原案どおり承認）
- (3) アンケート調査の実施について（原案どおり承認）
- (4) 住民意見交換会の開催について（原案どおり承認）
- (5) その他

5 会議で出された主な意見等

項 目	意 見 等
四賀地域公共交通実証運行の利用状況について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 松本市役所職員のエコ通勤の影響が今回の利用状況などに影響があったかどうか分かるか。 ⇒ 朝の1便は、支所拠点で7時5分発松本バスターミナル行であるが、5月の実績が1便当たり10名だったのに対し、現在は19.3人。2倍ぐらい増えている。パークアンドライド、駐車場を使う職員もいるが、パークアンドライドを使わなくても通える職員が多いように見受けられる。 ○ 全体の母数があまり大きくない中で、市役所関係の利用者だけでも数的に影響があれば今後の方策を考える1つのヒントなるのでは。 ○ デマンド運行で便の設定が出来ず断った件数はあるか。 ⇒ 無い。 ○ 四賀地域バスの一般利用者119人の停留所別や日別の利用状況を教えてほしい。 ⇒ 明科駅、四賀支所の利用者が多い。停留所別には、1便定時定路線35人、2便2人、3便1人、4便36人、5便40人、6便2人、7便0人、8便3人、9便0人、合計が119人。

	<p>○ 119人は登録者が予約をして利用した数字か。 ⇒ その通り。全部で1347名の登録がある。地域バスは初めてのケースであり、実証運行前に地区内15回の地元説明会を開催し281人に出席していただいた。</p>
<p>住民意見交換会の開催について・アンケート調査の実施について</p>	<p>○ アンケート調査の実施、住民意見交換会を実施後、その結果を受けてどうするか。 ⇒ 住民意見交換会は、10月、11月分の2ヶ月の利用状況を報告し、利用者や未利用者の意見要望を聞く。また、留め置き調査でも、利用者の利用状況を把握したい。意見交換会やアンケート結果を受け、国土交通省の要綱に基づき1月から2月に事後評価、評価検証し来年度の実証運行に役立てたい。評価を受け本協議会で評価検証を行い、2次評価の結果について国から指導を受ける。それに基づき来年度以降の事業を見直していく。これを3年間続ける。</p> <p>○ 地域バス利用者のアンケート調査は重要。少ない利用人数で何人回答するか心配。アンケートを確実に回収する方法として、聞き取り調査は実施出来ないか。 ⇒ 聞き取りは難しい。出来るだけアンケート調査で対応する計画を進めている。聞き取り調査は曜日によって違うため1日だけではあまり効果が得られない。実施するのであれば1週間全便を調査しなければ、利用状況が分からない。意見として伺い、今年度は留め置き調査と意見交換会を実施したい。聞き取り調査は経費がかかるため来年度以降、母数が増えてきたら検討したい。</p> <p>○ アンケートに住所を書くのはなぜか。 ⇒ 出来るだけ正確なバス停までの移動距離と移動にかかわる負担について把握するため。また去年実施のアンケートと比較するため。</p> <p>○ 前回は各地域で実施したが、地域バス利用者が参加すれば良いが、ほとんどが町会の役員が出席している。もっと底辺の人たちの声を聞き利用促進につながる地域説明会となるような工夫は出来ないか。 ⇒ 前回8月の実施の際も地域で関心を持っていただくため、町会長に協力していただいたが、今回も町会長会議等で日程等報告してお願いしていきたい。周知すると共に、こちらから出向いても説明もする。出来るだけいろいろな機会をとらえながら利用者の意見を把握したい。</p> <p>○ 住民意見交換会は夜開催すると若い人たちは参加出来るが、バスを利用する高齢者は参加しない。社協の高齢者の健康教室などで話題となるのは、デマンド交通が良く分からない、バス停まで遠い、四賀線は150円だったがデマンド交通は300円などたくさん話が出る。社協の教室などには高齢者が多く集まる。そのような機会に説明をした方が良いのでは。 ⇒ 住民説明会でも社協、福祉ひろばの健康教室など15回、地域に出向き説明し、計281人集まった。初めてのケースで分かりにくいこともあると思うが、前回と同様、計6回計画している。 ⇒ 前回の意見交換会でも五常地域から、高速バスの乗り継ぎ時間にゆとりが必要との意見があった。最終的に松電の協力で四賀線の運行時間を変更した。意見交換会での住民からの意見は可能なものは大幅に見直す際、実施したい。</p> <p>○ 説明会には利用する人が参加せず若い人たちが参加しているため、高齢者からは「自分たちは若い人たちから聞いていないので良く分からない。」という話を聞く。また、執田光は地理的条件から公民館まで行くことが出来ないとの声がある。</p>

執田光地域はドアTOドアで行くなど地域の実情にあわせて変えることが出来ないか。懇談会を開くのであれば、利用したい人の意見を出来るだけ取り入れてほしい。

- エコ通勤などで利用者を増やさなければ今後、交通弱者に影響が出る。通勤者で公共交通を利用しない人の意見や、利用していただくための方策を今回の意見交換会で再度徹底してほしい。
- 通勤だけではなく、地域内の会議に出席する場合にはバスを使うなど四賀地区全体で取り組まなければいけない。
⇒ マイカーに慣れ親しんできた地域性があり大変だと思うが、地区住民の意識改革をする必要がある。
- 五常は明科と接しており安曇野市のデマンドは山中の清水まで来るという話を聞いている。地域住民はデマンド交通といえば家までバスが来るという先入観を持っている。安曇野市のデマンドとは違うという説明は根気がいる。
⇒ これから意見交換会等を通じて根気強く説明したい。